## 平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 44

_ 1 事務事業の表示									※ ■ : 該当		
事	務事業名	スポーツイベント参加助成金									
	価 者	担当課名		教育振興課			担当係名			生涯教育係	
評		管理職	職名		課長		作成者氏		職名	主査	
			氏名		横田和雪				氏名	櫻井輝久	
事	業の概要	スポーツイベントに参加することにより、青少年の心身の健全な育成を図ることを目的に、その経費の一部を助成する。 助成金の対象となるスポーツイベントはインターナショナルオホーツクサイクリングを想定しており、町内小中高等学校の児童・生徒を対象とする。  全体計画 (平成 23 全 国・道文出 地方侵 その代費 一般財活事業費)								出金     千円       債     千円       他     千円       才源     650 千円	
実	施方法	<mark>施 方 法</mark> ■ <mark>直 営</mark>			民間委託			そ0	D他 (		)
第5期総合計画(前期)			期)		登載事業			非登載事業		<mark>優先度</mark> B	
事業の位置付け		政策	標	3	のびやか・雄武~教育・文化の振興~						
		基 本 施 策 13 生涯学習·生派					<b>ミスポーツの推進</b>				
		単 位 施 策			2 学習・スポーツ活動の推進						
		事務事業の種類		自治事務			法定受託事務				
		その他計画・									
事業費	実施年度	20年度(実績		年度	(実績)	22年	度(美		23年度	延(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千月			千円			千円		千円	千円
	地方債	千F 千F	-					千円		千円	千円
	その他財源 雄武町負担額 (一般財源)	千		千円           千円			千円		1	80 千円	<u>千円</u> 250 <mark>千円</mark>
	合 計	千	<b>-</b>		千円			千円	1	80 千円	250 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理 論上の成果指標)					
【抱える課題や ニーズは】	事業参加者の減少。	申請者数					
- Ala1		指標(指標計算式/解説)	目標値	直及び実績値			
		<mark>①</mark> 申請者数	目標年度	平成23年度			
【どのような状態 になることを目指	参加費の一部を助成し、参加の負担な		目標値	40 名			
したのか(意図)】	軽減する。		実 績 値	18 名			
			達成度	45.0 %			
【その結果、どの		2	目標年度				
ような成果を実現	参加者の増加による、事業の発展と町		目標値				
したいか】 ※成果=目的	の活性化を目的とする。		実 績 値				
<b>次</b> 成未一日的			達成度	%			
内 容(どのような手段で何を行ったか)							
オホーツクサイク リング参加費助成	広報等で助成周知を行い、参加者から申請書及び関係書類を提出を受けた後、指定口座への助成金振込を行った。(助成額10,000円)						

	(m/a)		裏				
3 事務事業の評価(Check) (1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業 を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)							
<b>必要</b> /概ね必要/ 課題あり	■ 義務的なもの ■ 全部 一部		出発地という重要な役割を担って 5る。また、児童・生徒の貴重なス				
	性(期待する効果が得られ	<b>いたか</b> )					
概ね有効 <sup>有効/概ね有効/</sup> 課題あり	設定した目標値の達成 状況   達成   ほぼ達成   ▼ 下回る	助成制度の有効な利用が見られ	ι、効果が得られた。				
(3)事務事業の効率	性(コストに見合った効果)	が得られたか、計画上のコストを	下げる工夫をしたか)				
効率的 効率的/概ね効率 的/課題あり	判断の理由 事業費抑制 人員削減 時間短縮・作業軽減 ■ その他	対象を町内在住の児童生徒と絞 沿いながら効率的に助成を行うこ	っていることから、町民のニーズに とができた。				
(4)事務事業の公平性							
<b>公平</b> 公平/概ね公平/ 公平でない	判断の理由	町内すべての児童生徒を対象とし たれている。	している事業であり、公平性は保				
B:ほぼ計画通 C:当初の計画	業が進んでいる。目標が達 りに進んでいるが目標に達 を達成できていない。事業	を成された。今後も計画通り事業を 達成していない。事業の進め方に き規模、内容、実施主体等の見直 合、休・廃止の検討が必要 等	改善が必要 等				
自己評	価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)				
	Α						
オホーツクサイクリン が図られた。	yグに参加し易い環境作り						
<mark>今後の展開方</mark> l (Action)							
継続/	/現状維持						
	サイクリングの参加促進を 成を継続する必要がある。						
*展開方向の区分 〇 継続/現状約	<b>性持又は拡充又は縮小又は</b>	統合又は内容の見直し・変更 〇	終了 〇休止 〇廃止				

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)